

開 発 事 業 構 想 検 討 書

令和 8 年 3 月 30 日

仙台市長あて

住 所 宮城県仙台市太白区大野田 4 丁目 2 8 - 3
 氏 名 大和リース株式会社 仙台支社
 支社長 田中 徳明

杜の都の風土を守る土地利用調整条例第 10 条第 1 項（第 17 条第 2 項，第 18 条第 7 項，第 21 条第 2 項，第 24 条第 1 項）の規定により，次のとおり開発事業構想検討書を作成し，第 11 条第 1 項の規定により提出します。

総 括 事 項	
当該区域を事業区域として予定する理由	検討した案の数：3
	選定した案の名称：案③雨水排水計画を検討 理由： 本区域を選定した理由は、仙台湾海浜等の生態系や周辺農地と共存しつつ、仙台市の景観方針に順応した事業構築ができるためです。 具体的には、①地形改変を最小限に留めクロマツ植林などの自然植生を保全できること、②既存設備を活用した適切な排水・土砂流出対策が可能なこと、③周辺の農業施設や営農への影響を排除できること等から、自然環境の維持と安全確保を両立しうる最適な区域であると判断いたしました。
開発事業の構想の検討に係る経過(周辺地域の住民等の意見の聴取を行った場合にあっては、説明の方法, 意見の有無等を含む)	<input type="checkbox"/> 2024 年 12 月～2025 年 1 月 当初、事業区域の候補として 3 箇所の用地における設備配置等の比較・検討を実施。 <input type="checkbox"/> 2025 年 6 月 計画地を現在の 1 箇所へ集約・変更。 <input type="checkbox"/> 2025 年 11 月～12 月 対象地の造成計画図に基づき、太陽光パネル等の全体配置計画、および受変電設備の設置位置に関する技術的検討を実施。 <input type="checkbox"/> 2025 年 12 月 関係行政機関の各担当部局へ赴き、計画内容に関する事前協議および調整を実施。 <input type="checkbox"/> 2025 年 12 月 本計画の実施にあたり、近隣住民等への説明会開催および意見聴取の要否について、新浜町内会長および南蒲生町内会へ事前の確認を行った。その結果、本計画地が公共施設である「南蒲生浄化センター」の敷地内に位置することから、本事業に伴う住民等への説明および意見聴取の手続きは不要であるとの回答を得た。 <input type="checkbox"/> 2025 年 12 月～2026 年 2 月

	<p>上記の協議結果および現地の状況を踏まえ、自然環境への負荷低減ならびに土砂流出防止の観点から、野立て架台の仕様変更や、既設排水設備を有効活用する施設計画への見直し等、詳細な検討を実施した上で本申請に至るものである。</p>		
<p>開発事業の実施に際し適正かつ合理的な土地利用を図る上で留意すべき事項</p>	<p>本開発事業の実施にあたっては、以下の事項に留意し、周辺環境と調和した適正かつ合理的な土地利用を図る。</p> <p>1. 地形改変の最小化と自然環境の保全 大規模な切土・盛土を極力避け、既存の地形および地盤を活かした配置計画とすることで、自然植生の保全と周辺の生態系への影響を最小限に留める。</p> <p>2. 防災および土砂流出等の防止 事業区域外への雨水や土砂・濁水の流出を防ぐため、既設の浸透枿や排水設備を有効活用した適切な排水処理計画を講じ、下流域や周辺水辺環境の安全を確保する。</p> <p>3. 周辺景観および社会環境との調和 仙台市「杜の都景観計画」等の上位計画を遵守し、必要な緑化（事業区域の20%以上等）を推進する。また、隣接する農地や水路等の農業用施設に支障を及ぼさないよう離隔距離を確保し、工事中・供用後を問わず周辺の営農環境への配慮に努める。</p>		
<p>連絡先</p>	<p>住所</p>	<p>愛知県名古屋市中村区名駅南一丁目6番1号 サン・納屋橋ビル3階</p>	
	<p>担当者</p>	<p>所属：ユニバーサルエコロジー株式会社</p>	<p>電話：052-990-6993</p>
		<p>氏名：多田 道子</p>	<p>Fax：052-990-6990</p>

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること

位置図

中心地 | 仙台市宮城野区蒲生 付近



出典：仙台市都市計画情報インターネット提供サービスより、仙台市都市計画基本図を利用して作成

S=1:5000

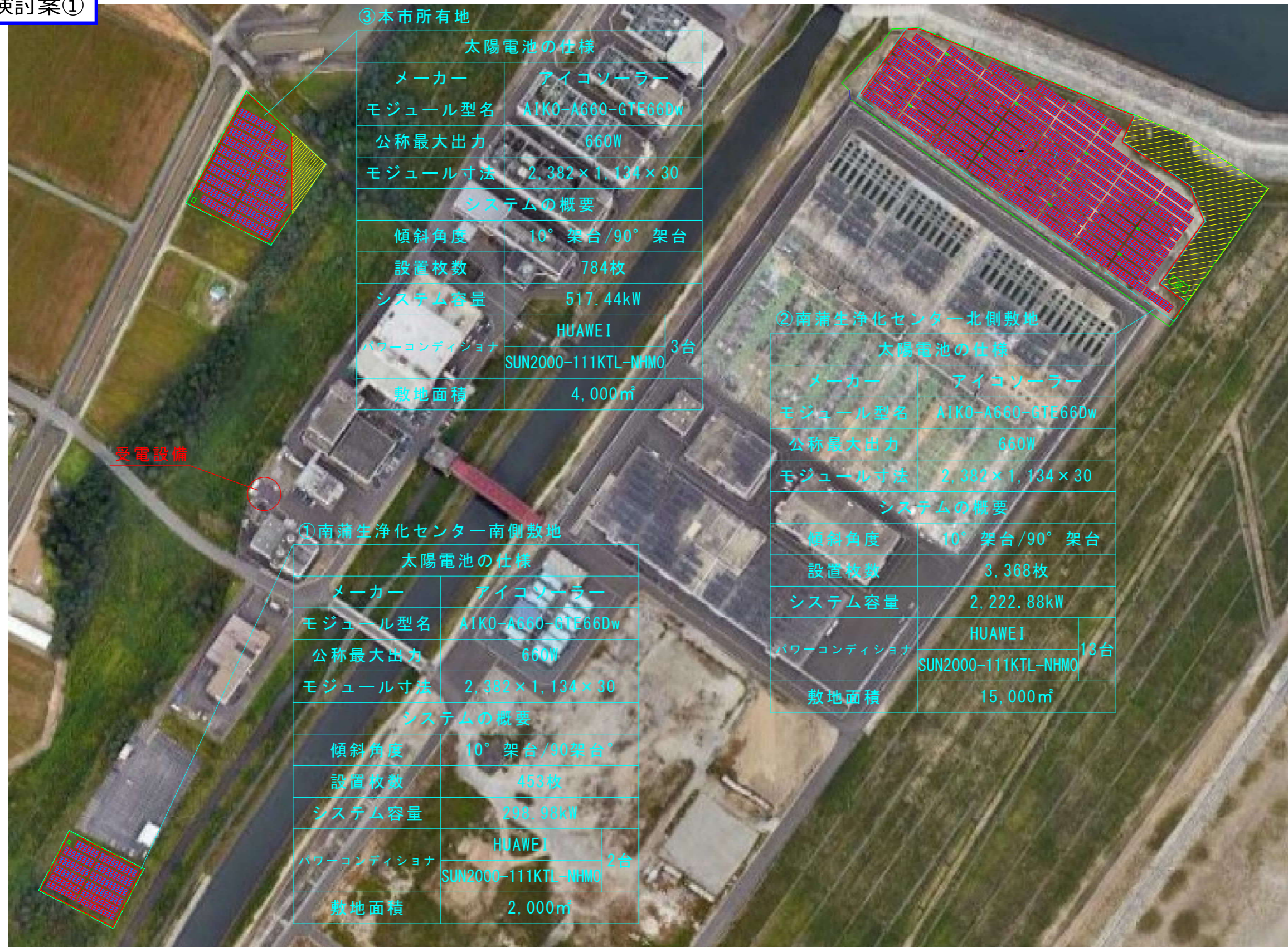
個 別 事 項	
当該個別事項に係る案の名称	案 1
開発事業の名称	南蒲生浄化センターPPA オンサイト太陽光発電設備導入事業
種別：	区画形質の変更 工作物の新築 ・改築・増築・移転・用途の変更 水面の埋立等 その他
開発事業の目的	太陽光発電設備を設置するため。
構想の内容	<p>案 1 は、現況未利用地の計 3 箇所（事業区域約 2.5ha、地目：原野・雑種地・下水道用地・畑・宅地・田）において、約 1.1ha の面積に工作物（太陽光発電パネル）を設置する計画とした。</p> <p>本案は、電力消費に伴う二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指し、再生可能エネルギーの導入を最大限に図る内容となっている一方で、一部の計画地における周辺農地への影響や、事業費が多額となる懸念がある。</p>
事業区域の位置	<p>【開発事業区域①】 宮城県仙台市宮城野区蒲生字八郎兵エ谷地第二 86-8、86-9（計 2 筆）</p> <p>【開発事業区域②】 宮城県仙台市宮城野区蒲生字八郎兵エ谷地第二 105-2, 108-1, 109-1, 110-1, 112-1, 112-2, 134-1 の一部, 135-1 の一部（計 8 筆）</p> <p>【開発事業区域③】 宮城県仙台市宮城野区蒲生字井土谷地 145-1、146、147-1 宮城県仙台市宮城野区蒲生字鍛冶谷地 30-1、31-1、32（計 6 筆）</p>
周辺地域における土地利用の現況	添付図面のとおり。
周辺地域における環境の状況	計画地は南蒲生浄化センター内に位置し、周辺は「農業振興地域」や「農用地保全区域」に指定された広大な農地である。遮蔽物がなく日照条件に優れる一方、海風の影響を受けやすい。周辺は公共施設と農地が主体で住宅密集地から離れているため、太陽光設備による騒音や反射光等が近隣住民の生活環境に及ぼす影響は極めて少ない。
周辺地域の仙台市基本計画等における位置付け	計画地が所在する郊外部においては、自然環境や農地の保全を図ることが基本的な方針として位置付けられている。計画地周辺は「農業振興地域」に該当しており、本市の土地利用方針図における「農用地保全区域」等に位置付けられ、良好な農業環境を維持・保全すべき重要なエリアとなっている。
周辺地域における土地利用の規制の状況	<p>本計画地および周辺地域における、該当する規制・関係法令等は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法：「市街化調整区域」に該当。 ・農地法：「農地転用」の手続きが必要。 ・河川法：「河川法第 55 条」の申請が必要。 ・土地造成関連：「一定規模以上の土地の形質の変更届出書」の提出が必要。

<p>周辺地域における土地利用方針の内容</p>	<p>本計画における周辺地域の土地利用方針、およびそれに準拠した計画内容は以下の通りである。</p> <p>1. 自然環境および地形への影響の最小化 自然環境への負荷を低減するため、既存の地形および地盤の改変を最小限に留める土地利用計画とし、自然植生の保全を図るものとする。</p> <p>2. 市街化調整区域の規制との整合性 計画地は市街化調整区域に位置するため、周辺の市街化を促進するおそれがないことを大前提とする。その上で、環境への影響を低減するための適切な措置を講じることにより、地域の自然的・社会経済的な効用が得られるよう計画する。</p> <p>3. 景観形成方針への準拠および適応 本計画は、仙台市「杜の都」景観計画における「自然景観（河川・海岸地ゾーン）」の方針に沿うものである。周辺の豊かな自然景観や眺望を損なうことがないよう、設備の配置や意匠（デザイン・色彩等）について十分に検討を行う。</p> <p>4. 周辺農地への配慮および農業環境の保全 計画地周辺は、仙台市の土地利用方針において郊外部の自然豊かな地域特性を損なわないための「農用地保全区域」等に位置付けられている。これを十分に踏まえ、隣接する農地への日照や通風の阻害、農業用水路への影響等、周辺の営農活動に支障を来さないよう配慮する。</p>
--------------------------	--

備考

- 1 個別事項に係る表は、検討した各案ごとに作成すること
- 2 添付図面
 - (1)事業区域の位置を明らかにした縮尺 1 : 25,000 以上の位置図
 - (2)周辺地域における土地利用の現況を明らかにした縮尺 1 : 25,000 以上の平面図
- 3 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること

検討案①



③本市所有地

太陽電池の仕様	
メーカー	アイコソーラー
モジュール型名	AIK0-A660-GTE66Dw
公称最大出力	660W
モジュール寸法	2,382×1,134×30
システムの概要	
傾斜角度	10° 架台/90° 架台
設置枚数	784枚
システム容量	517.44kW
パワーコンディショナ	HUAWEI SUN2000-111KTL-NHMO 3台
敷地面積	4,000㎡

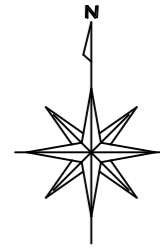
②南蒲生浄化センター北側敷地

太陽電池の仕様	
メーカー	アイコソーラー
モジュール型名	AIK0-A660-GTE66Dw
公称最大出力	660W
モジュール寸法	2,382×1,134×30
システムの概要	
傾斜角度	10° 架台/90° 架台
設置枚数	3,368枚
システム容量	2,222.88kW
パワーコンディショナ	HUAWEI SUN2000-111KTL-NHMO 13台
敷地面積	15,000㎡

①南蒲生浄化センター南側敷地

太陽電池の仕様	
メーカー	アイコソーラー
モジュール型名	AIK0-A660-GTE66Dw
公称最大出力	660W
モジュール寸法	2,382×1,134×30
システムの概要	
傾斜角度	10° 架台/90架台
設置枚数	453枚
システム容量	298.98kW
パワーコンディショナ	HUAWEI SUN2000-111KTL-NHMO 2台
敷地面積	2,000㎡

御参考図



開発事業区域①	1973.09㎡
開発事業区域②	19552.65㎡
開発事業区域③	3941.99㎡
合計	25467.73㎡

太陽電池の仕様	
メーカー	アイコソーラー
モジュール型名	AIK0-A660-GTE66Dw
公称最大出力	660W
モジュール寸法	2,382×1,134×30
システムの概要	
傾斜角度	10° 架台/90° 架台
設置枚数	4,605枚
システム容量	3,039.3kW
パワーコンディショナ	HUAWEI SUN2000-111KTL-NHMO 18台

※測定面の高さ = 0.9(m) 緯度 = 38° [冬至] 測定時間: 9時~15時

※垂直積雪量は『仙台市建築基準法施行細則』を基に算出しております。

特記・凡例・算式・押印欄	※本割付図は参考図です。御契約前に必ず現調を行い設置可否を確認致します。	系統		工事番号 24088021-00	工事件名 南蒲生浄化センター 太陽光発電システム工事
	※現調等の結果によっては割付等が変更になる場合がございます。			積雪量 40 cm	基準風速 30 m/s
	※敷地内は高低差がないものとして作図しております。			架台型名 野立て架台 スクリュー 垂直架台	図面名 太陽電池モジュール配置図
	※地盤調査等は行っておりません。設置可能が前提の基で作成しております。			設置場所仕様 野立て	住所 宮城県仙台市宮城野区 蒲生八郎兵工谷地第二
	※冬至の時期は一段目のパネルの一部に若干影が掛かる可能性があります。			担当者	設計者
				日付 2025/01/31	面積 21,000㎡
				縮尺 1/2500	用紙 A3
				ユニバーサルエコロジー株式会社 特定建設業許可 愛知県知事許可(特-4)65569号 電気工事業 愛知県知事届出 第131031号	

個 別 事 項	
当該個別事項に係る案の名称	案 2
開発事業の名称	南蒲生浄化センターPPA オンサイト太陽光発電設備導入事業
種別：	区画形質の変更 工作物の新築 ・改築・増築・移転・用途の変更 水面の埋立等 その他
開発事業の目的	太陽光発電設備を設置するため。
構想の内容	案 2 は、対象を南蒲生浄化センター敷地内の現況未利用地 1 箇所（事業区域約 1.9ha、地目：原野）に絞り、約 0.9ha の面積に工作物（太陽光発電パネル）を設置し、太陽光発電の用に供する計画とした。
事業区域の位置	宮城県仙台市宮城野区蒲生字八郎兵エ谷地第二 105-2, 108-1, 109-1, 110-1, 112-1, 112-2, 134-1 の一部, 135-1 の一部（計 8 筆）
周辺地域における土地利用の現況	添付図面のとおり。
周辺地域における環境の状況	計画地は南蒲生浄化センター内に位置し、周辺は「農業振興地域」や「農用地保全区域」に指定された広大な農地である。遮蔽物がなく日照条件に優れる一方、海風の影響を受けやすい。周辺は公共施設と農地が主体で住宅密集地から離れているため、太陽光設備による騒音や反射光等が近隣住民の生活環境に及ぼす影響は極めて少ない。
周辺地域の仙台市基本計画等における位置付け	計画地が所在する郊外部においては、自然環境や農地の保全を図ることが基本的な方針として位置付けられている。計画地周辺は「農業振興地域」に該当しており、本市の土地利用方針図における「農用地保全区域」等に位置付けられ、良好な農業環境を維持・保全すべき重要なエリアとなっている。
周辺地域における土地利用の規制の状況	本計画地および周辺地域における、該当する規制・関係法令等は以下の通りである。 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法：「市街化調整区域」に該当。 ・河川法：「河川法第 55 条」の申請が必要。 ・土地造成関連：「一定規模以上の土地の形質の変更届出書」の提出が必要。
周辺地域における土地利用方針の内容	本計画における周辺地域の土地利用方針、およびそれに準拠した計画内容は以下の通りである。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境および地形への影響の最小化 自然環境への負荷を低減するため、既存の地形および地盤の改変を最小限に留める土地利用計画とし、自然植生の保全を図るものとする。 2. 市街化調整区域の規制との整合性 計画地は市街化調整区域に位置するため、周辺の市街化を促進するおそれがないことを大前提とする。その上で、環境への影響を低減するための適切な措置を講じることにより、地域の自然的・社会経済的な効用が得られるよう計画した。 3. 景観形成方針への準拠および適応 本計画は、仙台市「杜の都」景観計画における「自然景観（河川・海岸地ゾーン）」の方針に沿うものである。周辺の豊かな自然景観や眺望を損なうことがないよう、設備の配置や意匠（デザイン・色彩等）について十分に検討を行った。

備考

- 1 個別事項に係る表は，検討した各案ごとに作成すること
- 2 添付図面
 - (1)事業区域の位置を明らかにした縮尺 1 : 25,000 以上の位置図
 - (2)周辺地域における土地利用の現況を明らかにした縮尺 1 : 25,000 以上の平面図
- 3 用紙の大きさは，日本工業規格 A4 とすること

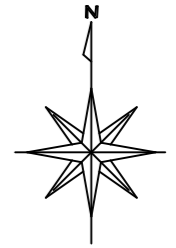
検討案②

御参考図



野立て架台

太陽電池の仕様	
メーカー	アイコソーラー
モジュール型名	AIK0-A660-GTE66Dw
公称最大出力	660W
モジュール寸法	2,382×1,134×30
システムの概要	
傾斜角度	10° 架台
設置枚数	3,232枚
システム容量	2,133.12kW



垂直架台

太陽電池の仕様	
メーカー	アイコソーラー
モジュール型名	AIK0-A660-GTE66Dw
公称最大出力	660W
モジュール寸法	2,382×1,134×30
システムの概要	
傾斜角度	90° 架台
設置枚数	136枚
システム容量	89.76kW

開発事業区域	19552.65㎡
合計	19552.65㎡

太陽電池の仕様	
メーカー	アイコソーラー
モジュール型名	AIK0-A660-GTE66Dw
公称最大出力	660W
モジュール寸法	2,382×1,134×30
システムの概要	
傾斜角度	10° 架台/90° 架台
設置枚数	3,368枚
システム容量	2,222.88kW
パワーコンディショナ	HUAWEI SUN2000-111KTL-NHMO
	13台

既設フェンス
注意看板は25mピッチ目安で設置いたします。現地状況により配置位置は変更する場合がございます。

※測定面の高さ=0.9(m) 緯度=38° [冬至] 測定時間:9時~15時
※垂直積雪量は『仙台市建築基準法施行細則』を基に算出しております。

特記・凡例・算式・押印欄	※本割付図は参考図です。御契約前に必ず現調を行い設置可否を確認致します。	系統	14直列×19並列×6台	工事番号	24088021-03	工事件名	②南蒲生浄化センター北側敷地 太陽光発電システム工事				
	※現調等の結果によっては割付等が変更になる場合がございます。		14直列×18並列×5台	積雪量	40 cm	基準風速	30 m/s	図面名	太陽電池モジュール配置図	日付	2025/06/02
	※敷地内は高低差がないものとして作図しております。		(14直列×16並列+13直列×2並列)×1台	架台型名	野立て架台 垂直架台	スクリーン	住所	宮城県仙台市宮城野区 蒲生八郎兵衛谷地第二		面積	15,000㎡
	※地盤調査等は行っておりません。設置可能が前提の基で作成しております。		(14直列×15並列+13直列×4並列)×1台	設置場所仕様	野立て		担当者	設計者	検図者	縮尺	1/1000
	※冬至の時期は一段目のパネルの一部に若干影が掛かる可能性があります。				ユニバーサルエコロジー株式会社	特定建設業許可 電気工事業	愛知県知事許可(特-4)65569号 愛知県知事届出 第131031号	用紙	A3		

個 別 事 項

当該個別事項に係る案の名称	案 3
開発事業の名称	南蒲生浄化センターPPA オンサイト太陽光発電設備導入事業
種別：	<input checked="" type="checkbox"/> 区画形質の変更 <input type="checkbox"/> 工作物の新築・改築・増築・移転・用途の変更 水面の埋立等 その他
開発事業の目的	太陽光発電設備を設置するため。
構想の内容	案 3 は、事業区域の土地測量を実施し、その実測値に基づく雨水排水の計画等を含めて策定した。 現況未利用地（事業区域約 1.7ha、地目：原野）を対象とし、約 0.9ha の面積に工作物（太陽光発電パネル）を設置して太陽光発電の用に供する計画とした。
事業区域の位置	宮城県仙台市宮城野区蒲生字八郎兵エ谷地第二 105-2, 108-1, 109-1, 110-1, 112-1, 112-2, 134-1 の一部, 135-1 の一部（計 8 筆）
周辺地域における土地利用の現況	添付図面のとおり。
周辺地域における環境の状況	本計画地は、都市計画法に基づく「市街化調整区域」に位置し、公共施設である南浄化センター敷地内の未利用地となっている。周辺一帯は「農業振興地域」および仙台市の土地利用方針における「農用地保全区域」に指定されており、平坦で広大な農地が広がる良好な営農環境が保全されている。また、当該エリアは動物の重要な生息地である「仙台湾海浜」に該当するとともに、仙台市「杜の都」景観計画における「自然景観（河川・海岸地ゾーン）」にも位置付けられており、水辺環境と連続した豊かで開放的な自然景観および生態系を有する地域である。
周辺地域の仙台市基本計画等における位置付け	計画地が所在する郊外部においては、自然環境や農地の保全を図ることが基本的な方針として位置付けられている。計画地周辺は「農業振興地域」に該当しており、本市の土地利用方針図における「農用地保全区域」等に位置付けられ、良好な農業環境を維持・保全すべき重要なエリアとなっている。
周辺地域における土地利用の規制の状況	本計画地および周辺地域における、該当する規制・関係法令等は以下の通りである。 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法：「市街化調整区域」に該当。 ・河川法：「河川法第 55 条」の申請が必要。 ・土地造成関連：「一定規模以上の土地の形質の変更届出書」の提出が必要。

<p>周辺地域における土地利用方針の内容</p>	<p>本計画における周辺地域の土地利用方針、およびそれに準拠した計画内容は以下の通りである。</p> <p>1. 自然環境および生物多様性への配慮</p> <p>本事業区域は、動物の重要な生息地である「仙台湾海浜」に該当し、希少な塩生植物群落が広がる「蒲生干潟」に近接している。これら周辺環境を維持するため、以下の措置を講じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生態系の保全：野生動物の生息状況の把握に努め、生態系の保全に配慮する。特に飛翔する鳥類等への影響を低減するため、反射率の低い多層 ARC ガラスを採用した太陽光パネルを導入する。 ・樹林の維持：計画地の一部に存在する植生自然度が高い「クロマツ植林」等の区域については、周辺の植生に配慮し、樹林の伐採を回避し、在来種を用いた緑化に努める。 ・影響の最小化：自然環境への負荷を低減するため、既存の地形および地盤の改変を最小限に留める土地利用計画とし、自然植生の保全を図る。 <p>2. 土地利用規制と景観への適応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域における整合性：計画地は市街化調整区域に位置するため、市街化を促進するおそれがないことを前提とし、環境への影響を低減するための措置を講じることで、自然的・社会経済的な効用が得られるよう計画した。 ・景観形成方針への準拠：仙台市「杜の都」景観計画における「自然景観（河川・海岸地ゾーン）」の方針に沿い、周辺の景観や眺望を損なわないよう設備の配置および意匠を検討した。 ・緑化基準の遵守：「杜の都の環境をつくる条例」および「土地利用方針」に基づき、事業区域面積の 20%以上の緑化を図る計画とした。 <p>3. 周辺環境への負荷低減と安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質および土砂流出防止：降雨に伴う濁水や土砂が事業区域外へ流出することを防ぐため、既存の浸透側溝および浸透柵を活用した適切な排水処理計画を行い、周辺の水辺環境へ配慮した。 ・農業施設への配慮：周辺に水路や農道などの農業用施設があるため、営農に支障を及ぼさないよう計画地の選定を行った。また、工事中・供用後を問わず周辺農地の営農継続に影響を与えないよう必要な措置を講じる。
--------------------------	--

備考

- 1 個別事項に係る表は、検討した各案ごとに作成すること
- 2 添付図面
 - (1)事業区域の位置を明らかにした縮尺 1 : 25,000 以上の位置図
 - (2)周辺地域における土地利用の現況を明らかにした縮尺 1 : 25,000 以上の平面図
- 3 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること

検討案③

御参考図

太陽光QB



垂直架台

太陽電池の仕様	
メーカー	アイコソーラー
モジュール型名	AIKO-A660-GRH66Dw
公称最大出力	660W
モジュール寸法	2,382×1,134×30
システムの概要	
傾斜角度	90° 架台
設置枚数	136枚
システム容量	89.76kW

野立て架台

太陽電池の仕様	
メーカー	アイコソーラー
モジュール型名	AIKO-A660-GRH66Dw
公称最大出力	660W
モジュール寸法	2,382×1,134×30
システムの概要	
傾斜角度	10° 架台
設置枚数	3,232枚
システム容量	2,133.12kW

開発事業区域	17,198㎡
合計	17,198㎡

太陽電池の仕様	
メーカー	アイコソーラー
モジュール型名	AIKO-A660-GRH66Dw
公称最大出力	660W
モジュール寸法	2,382×1,134×30
システムの概要	
傾斜角度	10° 架台/90° 架台
設置枚数	3,368枚
システム容量	2,222.88kW
パワーコンディショナ	HUAWEI SUN2000-111KTL-NHMO
	13台

新設フェンス
注意看板は25mピッチ目安で設置いたします。現地状況により配置位置は変更する場合がございます。

※測定面の高さ=0.9(m) 緯度=38° [冬至] 測定時間:9時~15時

※垂直積雪量は『仙台市建築基準法施行細則』を基に算出しております。

※本割付図は参考図です。御契約前に必ず現調を行い設置可否を確認致します。

※現調等の結果によっては割付等が変更になる場合がございます。

※敷地内は高低差がないものとして作図しております。

※地盤調査等は行っておりません。設置可能が前提の基で作成しております。

※冬至の時期は一段目のパネルの一部に若干影が掛かる可能性があります。

系統	14直列×19並列×6台	工事番号	24088021-04	工事件名	②南蒲生浄化センター北側敷地 太陽光発電システム工事		
	14直列×18並列×5台	積雪量	40 cm	基準風速	30 m/s	日付	2026/02/16
	(14直列×16並列+13直列×2並列)×1台	架台型名	野立て架台 垂直架台	図面名	太陽電池モジュール配置図	面積	16,871㎡
	(14直列×15並列+13直列×4並列)×1台	設置場所仕様	野立て	住所	宮城県仙台市宮城野区 蒲生字八郎兵工谷地第二	縮尺	1/1000
				担当者	設計者	検図者	用紙
				ユニバーサルエコロジー株式会社			特定建設業許可 愛知県知事許可(特-4) 65569号 電気工事業 愛知県知事届出 第131031号
							A3

特記・凡例・算式・押印欄